

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	104 -	事業名	介護保険・任意事業	担当部課	福祉部長寿課
------	-------	-----	-----------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	7	介護保険特別会計
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	款	3	地域支援事業費
		施策の進め方	—		項	2	包括的支援事業・任意事業費
	まちづくり行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	2	任意事業費
		政策分類	5	障がい者でも要介護でも認知症でも大丈夫	大事業	2	任意事業
	その他(関係法令、要綱等)	介護保険法					
事業開始の背景、経緯等	地域の実情に応じて、市町村の任意により、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための事業を行う。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図る事業 成年後見制度の充実に係る事業等					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 主として市内在住の65歳以上の人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活できるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 介護保険・任意事業	現状維持	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		2,135	2,837	18,023
決算					1,709	2,784	17,524	
人件費(B)	千円	決算		—	7,913	4,833		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		—	10,697	22,357		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 食の自立支援事業配食数	回	目標	22,832	30,200	34,100	38,600	38,600
			実績	24,915	32,424	33,276	37,938	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 食の自立支援事業による配食の回数								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全市町村で行っている事業であるが、各市町村の地域の実情に応じた取組がなされている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 概ね達成されている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 独居高齢者や後期高齢者のみの世帯が増加しており、支援を必要とする人は増加傾向にあるが、事業にかけられるコストには限りがあり、間接的な支援者を増やしていく必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域のネットワークを構築し、多様な主体が高齢者のケアに携わる仕組みづくりを進める。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) ・5年後を目途として、本市としての地域包括ケアシステムのあり方の合意形成を図る。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		介護保険・任意事業										
番号	①	事務事業名	介護保険・任意事業		款	3	項	2	目	2	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成18年度		終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	対象：主として市内在住の65歳以上の人 高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図る事業 成年後見制度の充実に係る事業 等
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活できるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		2,135	2,837	18,023	15,945
		決算		1,709	2,784	17,524	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 「食」の自立支援事業委託						11,381	千円
② コンピューター賃借料						2,268	千円
③ 成年後見センター負担金						2,050	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
食の自立支援事業配食数	回	目標	22,832	30,200	34,100	38,600	38,600
		実績	24,915	32,424	33,276	37,938	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図る事業 (配食数 37,938食/年 のべ利用者数2,068人/年) 成年後見制度の充実に係る事業等							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

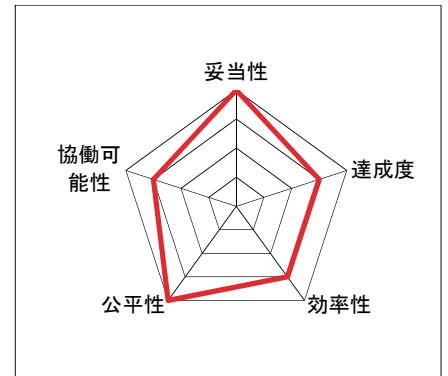
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
全市町村で行っている事業であるが、各市町村の地域の実情に応じた取組がなされている。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
一人暮らしの高齢者等の健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行うため、今後も事業を継続する。 利用者アンケートを定期的実施することで、利用者のニーズ、満足度等の把握に努める。
(何をどのような状態に改善したのか)
配食サービス希望者と身近に接するケアマネジャーに、配食弁当の試食機会を提供し、サービスの普及に努めた。利用者アンケートは、満足している人がほぼ8割と言う結果であった。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
地域包括支援センターを中心として、市民や専門職の結びつきが強まりつつある。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
独居高齢者や後期高齢者のみの世帯が増加しており、支援を必要とする人は増加傾向にあるが、事業にかけられるコストには限りがあり、間接的な支援者を増やしていく必要がある。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
地域のネットワークを構築し、多様な主体が高齢者のケアに携わる仕組みづくりを進める。